

第14期のご報告

株主通信

2009年3月1日▶2010年2月28日

顧客支持**NO.1**の
都市型スーパーセンターへの挑戦



株式会社スーパーバリュー

<http://www.supervalue.jp/>

証券コード:3094



経営理念

顧客支持No.1店舗の 拡大と維持

—— モットー ——

- お客様第一主義の徹底
- よい商品をより安く
- 顧客満足度の高いサービスの提供

企業理念

- 生活に豊かさと利便性をもたらす店舗展開による地域社会への貢献
- コンプライアンスの徹底およびCSR(企業の社会的責任)への取り組み
- ステークホルダー(顧客・株主・取引先・従業員)への利益還元

株主の皆様へ

To Our Shareholder



スーパーバリューは、
着実に出店を拡大しながら、
新たな取り組みを進めて
おります。

代表取締役執行役員社長

岸本 七朗

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

私ども株式会社スーパーバリューは、大変厳しい経済環境ではありますが、引き続き一步一步着実に成長を続けております。これも皆様の多大なご支援の賜物と、厚く御礼申し上げます。

最近の経済動向は、回復への期待感は大いものの、依然として厳しい所得環境及び雇用情勢にある中、デフレの進行も懸念され、先行き不透明な状況が続いております。また、小売業界におきましては、企業間の低価格競争が一段と激化し、厳しい経営環境で推移しております。

このような環境の中、当社は経営理念であります「顧客支持No.1店舗の拡大と維持」の実現に向け、お客様第一主義とコンプライアンス経営をさらに徹底し、着実な成長を遂げていく所存でございます。

当期(2010年2月期)におきましては、新店4店舗を出店し、店舗のドミナント化をさらに進めてまいりました。また、越谷店において、お客様の利便性向上と売場のリニューアルを目的として、本館(HC)と食品館(SM)の売場を入れ替える大改装を実施し、既存店の強化にも取り組んでまいりました。

本年につきましては、3月26日に開店しました「SuperValue志茂店」のほか、秋にも1店舗の新規出店を計画しております。また、年間2～3店舗の居抜き出店を目標に店舗のドミナント化をさらに推進してまいります。営業面では、2月より新たに「現金ポイントカード」及び「メール会員サービス」を開始し、スーパーバリューファンの拡大に向けた取り組みを進めております。

今後も店舗展開を拡大しつつ、既存店の強化や業務の効率化を進め、ステークホルダーの皆様のご期待に沿えるよう企業価値の最大化に邁進してまいります。

引き続き、株主の皆様のご支援、ご鞭撻をお願い申し上げます。

2010年5月

社長メッセージ

Message from the President

■スーパーバリューの特長と強み



当社の社名であり店舗名にもなっている「スーパーバリュー」とは、「お客様への価値の提供を最優先に行っていこう」という当社の意志を表明したものです。この経営姿勢のもとで構築された当社の最大の特長が、SM（食品スーパー）業態とHC（ホームセンター）業態を独自のノウハウで複合させた店舗です。1社単独でこの2つの専門的な業態を複合させることは非常に難しいのですが、当社では次のような取り組みにより、高い生産性を実現し、SM・HC複合業態で強い競争力と収益力を確保している数少ない存在となっております。

まず、「店舗への大幅な権限委譲」により、各店舗がその地域ニーズに合わせて、売価や品揃えを決定できる組織としております。お客様の声や地域イベント、天候などから判断し、瞬時に価格や品揃え、売場づくりなど対応することができます。この組織のもと、「よい商品をより安く」を実現するため、各店舗の売場ごとに競合店を設定し、毎日競合店調査を実施することで、安さにおいて常に「地域一番店」のポジションを確保するよう努めております。

また、年齢・家族構成・世帯年収・ライフスタイルなど様々な世帯属性に対応できるよう、品質や仕様、メーカーなどの多様な基準で「幅広い品揃え」を行った結果、当社店舗（SM・HC複合店舗）では、衣料品を除き日常生活に必要なほぼ全ての商品をワンストップで購入することが可能となっております。

こうした取り組みの結果、当社の店舗は非常に大きな集客力を持つに至っております。初めてご来店いただくと誰もが驚かれる当社の価格・品質、そして店舗の賑わいは、一度ご来店いただければ必ずご体感いただけるものと自負しております。



■成長戦略

ここ数年の厳しい経営環境においては、当社が得意とする「ローコスト経営」により、常に競合店を上回る価格競争力を発揮することで、地域一番店のポジションを確保することができると考えております。2010年2月期の実績に基づく当社集計によると、当社の売上高販管費率は競合企業の平均値に比べ7%以上も低い水準に抑えられております。このローコスト経営体制を活かし、各店舗では売価を常に競合店よりも低い水準に設定することが可能となっております。

出店戦略につきましては、埼玉県・東京都・千葉県の一都2県において、高密度集中出店体制（ドミナント出店体制）を推進しております。今後も、神奈川県を含む1都3県を中心とした首都圏エリアの「国道16号線」内側の市街地・人口密集地をメインターゲットとし、一店一店の収益性や効率性を重視しつつ店舗のドミナント体制を構築してまいります。

店舗運営面では、2010年4月よりSMとHCの物流センターを一本化し、配送の効率化とコスト削減の取り組みを始めております。また、引き続き仕入見直しによる原価低減や電子棚札の導入も進め、業務効率の向上とローコストオペレーション化を推進し、経営体制の強化に向け取り組みを進めております。

これらの戦略を推し進めていくことで、当社は経営理念である「顧客支持No.1店舗の拡大と維持」を追求し、より強い競争力を持ったビジネススタイルを構築してまいります。

当社では、「小売業はお客様の満足を勝ち取るための変化対応業である」ことを認識し、常にその時代の流れを読み取り、臨機応変に対応できる柔軟な組織であるよう努めております。

株主の皆様におかれましては、今後とも、当社の経営にご理解とご支援をお願い申し上げます。



トピックス

Topics

■新店舗がオープンしました

2009年11月14日(土)、埼玉県さいたま市大宮区に『SuperValue大宮天沼店』、埼玉県さいたま市見沼区に『SuperValue見沼南中野店』が同時オープンいたしました。

両店とも地元スーパーの経営していた2店舗を譲り受けた“居抜き店舗”で、改装を行った後開店いたしました。売場面積が約140坪と当社では最も小さい店舗となるため、品揃えは生鮮食品を中心とし、加工食品・日配品は商品を絞った売場構成としております。

当社では、今後出店を進める都心型小型食品スーパーのモデル店舗として、両店でノウハウの蓄積に努めてまいります。



〈SuperValue見沼南中野店〉



〈SuperValue大宮天沼店〉

『SuperValue大宮天沼店』、『SuperValue見沼南中野店』のオープン日は、時折雨がばらつくあいにくの天候でしたが、開店前には百名を超えるお客様の列ができ、盛況な開店を迎えることができました。

両店とも周辺には競合店が多く、競争の激しい地域ではありますが、「お客様第一」、「よい商品をより安く」、「地域密着」を徹底し、新鮮かつ品質の高い商品をお求めやすい価格でご提供することで、“地域一番店”のポジションを目指してまいります。

上記2店舗の出店により、当期末における当社の店舗展開は、埼玉県10店、東京都3店、千葉県1店の計14店となりました。

新年度を迎えて間もない2010年3月26日(金)には、東京都北区に当社15店舗目となります『SuperValue志茂店』が新規オープンいたしました。

『SuperValue志茂店』は、売場面積が410坪の食品スーパーです。新鮮な生鮮食品と品質の高い加工食品・日配品を地域一番の価格で品揃えし、また、周辺地域には、65歳以上の方と単身世帯が多いという統計データから、少量パックの品揃えにも注力してまいります。なお、『SuperValue志茂店』は、前年にオープンしました『SuperValue荒川一丁目店』同様、“オール電化”のエコ型店舗として、省エネにも取り組んでおります。

オープン日は、前日までの雨も上がり、開店前には数百名のお客様の列が屋上駐車場まで続くほどでした。すぐ近くには競合店があり、激しい競争となることが予想されますが、周辺地域の皆様のご期待に沿えるよう、「よい商品をより安く」に徹底して取り組んでまいります。



〈SuperValue志茂店〉

■越谷店の大改装を行いました

2009年10月23日(金)、『SuperValue越谷店』が、改装オープンいたしました。『SuperValue越谷店』は、当社設立後すぐに開店し、最初にSM+HCの複合形態を導入した店舗です。開店後11年が経過したことから、従来のHC売場であった本館にSM売場を移設し、従来の食品館はHC館へと大幅リニューアルする大改装を実施いたしました。

SM売場は以前の1.6倍となり、広い通路で、よりお買い物しやすい売場となりました。

当社では、これからも地域の皆様からご支持いただけるよう、お買い物しやすい店舗づくりに努めてまいります。



〈本館(SM)〉

↑
旧:本館(HC)

旧:食品館

↓
〈HC館〉

〈改装後の売場構成〉

本館

SM: 家庭・日用雑貨、ドラッグ、文具・玩具

HC館

ペット用品、カー・レジャー用品、家電製品、対面、インテリア用品 ※赤字は移設売場



■「現金ポイントカード」によるスーパーバリューファンの拡大に取り組みははじめました

当社では、2010年2月より、「現金ポイントカード」の会員登録を始め、3月より利用を開始いたしました。



この「現金ポイントカード」は、入会時に入会手数料100円をいただくほかは、年会費等一切無料です。お買上額100円ごとに1ポイントが付与され、1ヶ月間のお買上額に応じて累積ポイントが付与(ポイント付与率最大5%)されるともお得なポイントシステムです。ポイントの利用方法は、「現金換金(100円単位)」とお買い物時の「ポイント支払い」のどちらからも選べ、ポイント支払いは1ポイントから利用可能となっております。

お客様にとって、「よりお得」で「よりご利用しやすい」ことを追及した結果、このようなポイントシステムとなりました。

※ポイント還元・有効期限について
有効期限は、毎年2月末の残高ポイントから1年間で失効となりますのでご注意ください。

平成23年2月末残高ポイント → 失効日

ポイント還元: 現金換金又は、ポイント支払いが受けられます。(1ポイント1円還元)
前月21日から当月20日迄のお買上金額に応じて当月22日からポイント還元が受けられます
毎月23日から月末までサービスカウンターで取り付けてください。(100円単位で換金できます。)
一部店舗で現金換金後の残高ポイントが異なる場合がありますのでご了承ください。

ポイント獲得方法

ポイント	現金換金	ポイント支払い
3000P	1000円	2000円
2500P	2000円	5000円
2000P	3000円	10000円
1600P	4000円	20000円
1200P	5000円	30000円
900P	6000円	40000円
600P	7000円	50000円
400P	8000円	60000円
200P	9000円	70000円
1P	10000円	80000円

月間お買上総額	ポイント	還元率
100~20,000円	100P	0.5%
20,001~40,000円	200P	1.0%
40,001~60,000円	400P	2.0%
60,001~80,000円	800P	4.0%
80,001~100,000円	1000P	5.0%

ランク	ポイント	還元率
A (1%)	1000P	1.0%
B (2%)	2000P	2.0%
C (3%)	4000P	4.0%
D (4%)	8000P	8.0%
E (5%)	10000P	10.0%

当社では、この「現金ポイントカード」を今後の販促活動等で有効活用し、スーパーバリューファンの拡大に努めてまいります。

■お買得情報の“メール配信サービス”を開始いたしました

当社では、2010年2月より、お買得情報の“メール配信サービス”を開始いたしました。

お客様がご希望の店舗に無料会員登録するだけで、タイムサービスや日替わり特価品などのお買得情報が、該当店舗からタイムリーにメール配信されます。なお、会員ページのお買得情報はいつでも見ることができ、メール配信が無くても随時更新されております。

また、当サービスの開始と同時に、従来はパソコンでしか見ることのできなかったWEBチラシが、携帯電話からも見ることができるようになりました。

当社ホームページ(URL <http://www.supervalue.jp>)にてご確認いただけますので、是非一度お試しください。



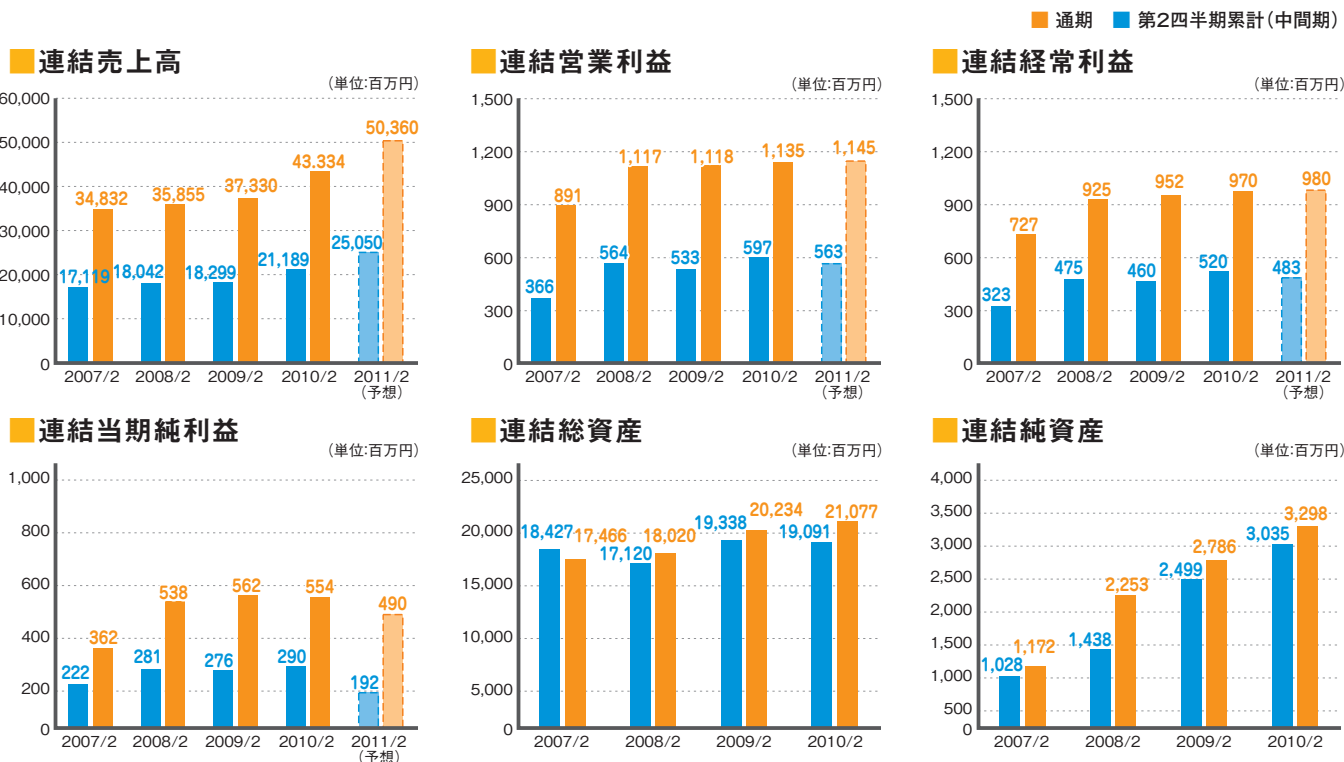
〈お買得情報〉



〈WEBチラシ〉

ハイライト情報(連結)

Financial Highlights (Consolidated)



(単位:百万円)

	連 結				
	2006/2	2007/2	2008/2	2009/2	2010/2
売上高	32,330	34,832	35,855	37,330	43,334
売上総利益	6,429	7,039	7,339	7,804	8,801
営業利益	481	891	1,117	1,118	1,135
経常利益	478	727	925	952	970
当期純利益	273	362	538	562	554
総資産	15,152	17,466	18,020	20,234	21,077
純資産	812	1,172	2,253	2,786	3,298
1株当たり当期純利益(円)	151.96	201.42	296.74	268.08	264.09
1株当たり純資産(円)	451.39	647.72	1,067.08	1,320.07	1,564.09
期末発行済株式数(千株)	1,800	1,800	2,100	2,100	2,100

セグメント情報(連結)

Segment Information (Consolidated)

営業概況

当連結会計年度におきましては、経済環境の最悪期は脱出したものの、依然として所得環境や雇用情勢の改善は見られず、加えてデフレの進行も懸念され、個人消費は大きく冷え込み、先行きが不透明な状況が続いております。

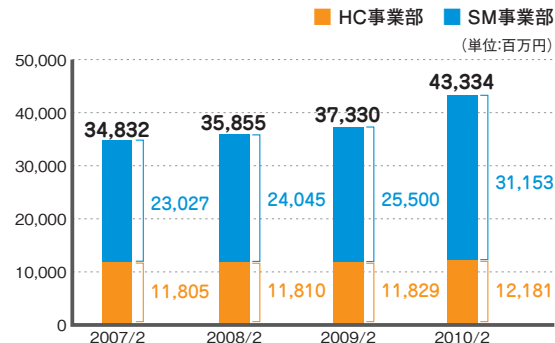
また、小売業界におきましては、お客様の低価格志向がさらに強まる中、企業間の低価格競争は一段と激化し、業界全体で客単価の低下が見受けられ、厳しい経営環境で推移いたしました。

このような環境の中で、当社グループでは、生鮮部門を中心とした販売力・集客力の強化を推し進めてまいりました。

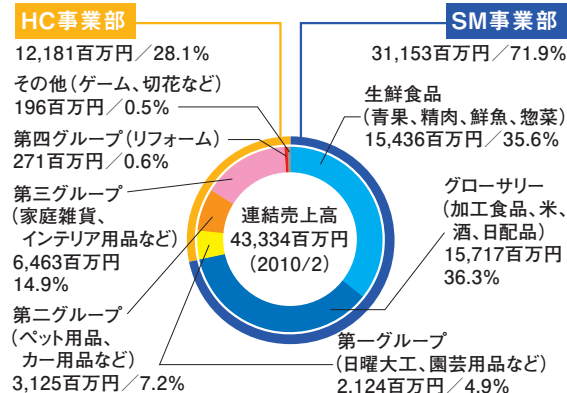
売上高につきましては、朝市や生本マグロの解体・実演販売、園芸即売会等の販売企画の強化により既存店が前期比0.7%増加したことに加え、新店の寄与もあり、433億34百万円(前期比16.1%増)となりました。売上総利益につきましては、激しい値下げ競争の影響で売上総利益率の低下はありましたが、引き続きロスの削減や仕入先・条件の見直しを進めた結果、売上高の増加もあり、88億1百万円(同12.8%増)となりました。

また、電子棚札の導入や従業員教育の強化による業務効率の改善、チラシ配布地域・枚数の見直しなど、経費の効率化に努めてまいりましたが、新店開店経費や改装費用の発生により、営業利益は11億35百万円(同1.5%増)、経常利益は9億70百万円(同1.8%増)となりました。なお、棚卸資産の評価方法変更に伴う評価損33百万円を特別損失として計上したことにより、当期純利益は5億54百万円(同1.5%減)となりました。

事業部別売上高の推移



品目別売上高構成比



当連結会計年度におきましては、非常に厳しい経営環境の中、「よい商品をより安く」をモットーに、常にお客様からご満足いただける商品・サービスを提供することにより、強い集客力を維持してまいりました。さらに、新店の寄与もあり、SM事業部の売上高は311億53百万円(前期比22.2%増)、HC事業部の売上高は121億81百万円(同3.0%増)となり、両事業部門ともに前期を上回ることができました。

連結財務諸表

Financial Statements (Consolidated)

(単位：百万円)			
連結貸借対照表	前々期末 2008年2月29日	前期末 2009年2月28日	当期末 2010年2月28日
(資産の部)			
流動資産	3,290	5,175	5,492
現金及び預金	579	2,296	2,539
現金及び預金(SPC)	557	423	423
売掛金	159	168	147
商品及び製品	1,658	1,840	2,018
原材料及び貯蔵品	3	4	5
繰延税金資産	92	95	104
その他	239	346	251
その他(SPC)	-	0	0
固定資産	14,652	15,007	15,559
有形固定資産	12,872	13,116	13,646
建物及び構築物	1,934	2,302	2,594
建物及び構築物(SPC)	3,225	3,093	2,962
車両運搬具及び工具器具備品	11	22	33
土地	4,834	4,834	4,834
土地(SPC)	2,862	2,862	2,862
リース資産	-	-	259
建設仮勘定	4	0	100
無形固定資産	29	29	125
リース資産	-	-	6
その他	24	25	114
その他の無形固定資産(SPC)	4	4	3
投資その他の資産	1,750	1,861	1,787
投資有価証券	2	1	1
繰延税金資産	60	37	13
差入保証金	1,648	1,749	1,722
その他	38	72	50
繰延資産(SPC)	77	51	25
資産合計	18,020	20,234	21,077

(単位：百万円)			
	前々期末 2008年2月29日	前期末 2009年2月28日	当期末 2010年2月28日
(負債の部)			
流動負債	6,668	9,144	9,719
支払手形及び買掛金	2,705	4,740	5,188
短期借入金	1,160	1,050	1,550
一年内返済予定の長期借入金	1,416	1,892	1,418
一年内返済予定の長期借入金(SPC)	250	250	250
リース債務	-	-	61
未払法人税等	266	218	195
役員賞与引当金	11	10	10
賞与引当金	131	155	166
その他	712	812	865
その他(SPC)	15	14	13
固定負債	9,097	8,303	8,058
長期借入金	3,154	2,662	2,453
長期借入金(SPC)	5,575	5,325	5,075
リース債務	-	-	221
退職給付引当金	14	24	28
その他	354	291	280
負債合計	15,766	17,448	17,778
(純資産の部)			
株主資本	2,240	2,772	3,284
資本金	367	367	367
資本剰余金	277	277	277
利益剰余金	1,595	2,127	2,639
自己株式	-	△ 0	△ 0
評価・換算差額等	0	△ 0	△ 0
その他有価証券評価差額金	0	△ 0	△ 0
新株予約権	12	14	14
純資産合計	2,253	2,786	3,298
負債純資産合計	18,020	20,234	21,077

財政状態

資産／当連結会計年度末の資産は、現金及び預金の増加、新規出店等による有形固定資産の増加及びたな卸資産の増加などにより、前連結会計年度末に比べ8億42百万円増加し、210億77百万円となりました。

有利子負債／当連結会計年度末の有利子負債(SPCを含む)は、前連結会計年度末に比べ4億33百万円減少し、107億46百万円となりました。

※有利子負債には、リース債務を含んでおりません。

純資産／当連結会計年度末の純資産は、連結当期純利益の計上による利益剰余金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ5億12百万円増加し、32億98百万円となりました。

注) 連結貸借対照表に掲載された「SPC」とは、「Value Plaza上尾愛宕店」の賃貸業務を営む当社連結子会社(有)上尾企画を匿名組合(SPC)として設立していることから、同社分を別立てに掲載しているものです。



■ 連結損益計算書	(単位：百万円)		
	前々期 2007年3月1日～ 2008年2月29日	前期 2008年3月1日～ 2009年2月28日	当期 2009年3月1日～ 2010年2月28日
売上高	35,855	37,330	43,334
売上原価	28,515	29,525	34,533
売上総利益	7,339	7,804	8,801
営業収入	372	333	302
営業総利益	7,712	8,138	9,103
販売費及び一般管理費	6,594	7,019	7,968
営業利益	1,117	1,118	1,135
営業外収益	103	106	105
営業外費用	296	271	270
経常利益	925	952	970
特別利益	-	7	4
特別損失	-	-	35
税金等調整前当期純利益	925	960	939
法人税、住民税及び事業税	386	376	371
法人税等調整額	0	21	13
当期純利益	538	562	554

■ 連結キャッシュ・フロー 計算書	(単位：百万円)		
	前々期 2007年3月1日～ 2008年2月29日	前期 2008年3月1日～ 2009年2月28日	当期 2009年3月1日～ 2010年2月28日
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,373	2,816	1,483
税金等調整前当期純利益	925	960	939
減価償却費	325	327	396
その他	122	1,528	146
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,084	△ 826	△ 741
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 251	△ 407	△ 498
現金及び現金同等物の増減額	37	1,583	243
現金及び現金同等物の期首残高	1,099	1,136	2,719
現金及び現金同等物の期末残高	1,136	2,719	2,963

キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益9億39百万円や仕入債務の増加4億48百万円などにより14億83百万円の収入となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、新規出店しました荒川一丁目店の出店関連費用及び越谷店の改装関連費用5億26百万円などの支払いにより7億41百万円の支出となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、新店設備資金などの長期借入金及び短期借入金の調達19億円や長期借入金の約定返済23億33百万円などにより4億98百万円の支出となりました。

これらの結果、当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ2億43百万円増加し、29億63百万円となりました。

■ 連結株主資本等 変動計算書

連結株主資本等 変動計算書	当期(2009年3月1日～2010年2月28日)								
	株主資本					評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計		
2009年2月28日残高	367	277	2,127	△ 0	2,772	△ 0	△ 0	14	2,786
連結会計年度中の変動額									
剰余金の配当			△ 41		△ 41				△ 41
当期純利益			554		554				554
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額(純額)						△ 0	△ 0	-	△ 0
連結会計年度中の変動額合計	-	-	512	-	512	△ 0	△ 0	-	512
2010年2月28日残高	367	277	2,639	△ 0	3,284	△ 0	△ 0	14	3,298

株式関連情報 (2010年2月28日現在)

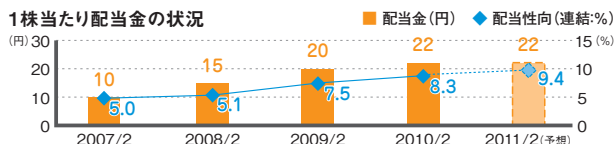
Stock Information

株主の皆様への配当金について

当社は、将来の事業展開と経営体質強化のために必要な内部留保を確保しつつ、株主の皆様に対する適正かつ安定的な配当を行うことを基本方針としております。

前期の剰余金の配当につきましては、増収増益となりましたので、5.00円増配し、1株当たり20.00円を実施し、配当性向(連結)は7.5%となりました。

当期の配当につきましては、売上高は二桁の増収を確保し、経常利益も増益となりましたので、2.00円増配し、1株当たり22.00円といたしました。この結果、配当性向(連結)は8.3%となりました。今後につきましても、1株当たり22.00円を基本としつつ、上記の基本方針と共に連結業績の成果等を考慮して行っていく所存であります。

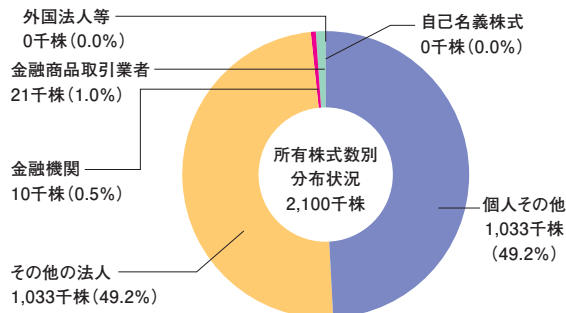


2010年2月期における1株当たり指標(連結)

1株当たり純資産 1,564.09円

1株当たり当期純利益 264.09円

株式分布状況

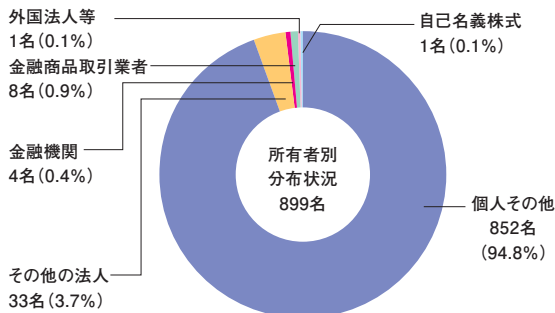


株式の状況

発行可能株式総数……………7,200,000株
発行済株式総数……………2,100,000株
株主数……………899名

大株主の状況

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
有限会社ライト経営	380,000	18.10
有限会社ドクターホールディングス	375,000	17.86
川畑 博士	315,000	15.00
スーパーバリュー従業員持株会	123,330	5.87
株式会社ジャパンミート	100,900	4.80
岸本 七朗	100,000	4.76
中島 幸子	100,000	4.76
岸本 圭司	100,000	4.76
ジャフコV2共有投資事業有限責任組合	78,900	3.76
株式会社大川ホールディングス	54,700	2.60



会社情報 (2010年5月28日現在)

Corporate Data

■ 会社概要

商 号	株式会社スーパーバリュー
本 社	〒330-0802 埼玉県さいたま市大宮区宮町四丁目129番地 大栄ツインビルN館7階 TEL:048(650)5622(代) FAX:048(650)5628
設 立	1996年3月18日
創 業	1996年7月21日
資 本 金	3億6,750万円
主たる事業	食品スーパーとホームセンターを併設した複合型小売店舗の経営
主な取扱商品	1.食品スーパー (SM) 青果、精肉、鮮魚、惣菜、加工食品、米、酒、日配品など 2.ホームセンター (HC) 日曜大工用品、園芸用品、エクステリア用品、カー用品、 レジャー用品、ペット用品、家電製品、対面(時計・カメラ等)、 インテリア用品、家庭・日用雑貨、文具・玩具、ドラッグ、リ フォーム、灯油など
従 業 員 数	正社員:355名 契約・嘱託社員、パート及びアルバイト:1,025名(8時間換算) ※2010年2月28日現在
主要取引銀行	三菱東京UFJ銀行 大宮駅前支店／埼玉りそな銀 行 大宮支店／みずほ銀行 大宮駅前支店／三 井住友銀行 大宮支店／群馬銀行 大宮支店／ 商工中金 さいたま支店／武蔵野銀行 大宮支店
連結子会社	有限会社バリューサポート 匿名組合(有限会社上尾企画)

■ 役員

※2010年6月1日現在

代 表 取 締 役	執行役員社長	岸 本 七 朗
取 締 役	専務執行役員	田 幡 徹 夫
取 締 役	執行役員	小野田 秀 実
取 締 役	執行役員	岸 本 圭 司
取 締 役		飯 野 忠 秋
常 勤 監 査 役		江 崎 可 明
監 査 役		小 崎 光 行
監 査 役		小 森 繁 則
監 査 役		稲 垣 夫 美
執行役員		横 山 克 一
執行役員		中 谷 圭 一
執行役員		大 森 主 男
執行役員		菅 又 茂 雄

■ 店舗ネットワーク

※ 数字は出店順です。



● 埼玉県

- 1 スーパーバリュー草加店
草加市栄町1-7-18
TEL:048(932)5151
- 2 スーパーバリュー越谷店
越谷市下間久里197-1
TEL:048(974)7111
- 3 スーパーバリュー戸田店
戸田市南町9-29
TEL:048(434)4955
- 5 スーパーバリュー春日部武里店
春日部市大枝330-1
TEL:048(731)2515
- 8 スーパーバリュー上尾愛宕店
上尾市愛宕3-1-40
バリュープラザ上尾愛宕店 1 階
TEL:048(778)3500
- 9 スーパーバリュー川口前川店
川口市前川3-20-17
TEL:048(263)0010
- 10 スーパーバリュー入間春日町店
入間市春日町1-12-1
バリュープラザ入間春日町店内
TEL:04(2901)0070
- 11 スーパーバリュー東所沢店
所沢市下安松782
TEL:04(2951)2200
- 13 スーパーバリュー大宮天沼店 **NEW!!**
さいたま市大宮区天沼町1-406-1
TEL:048(650)1561
- 14 スーパーバリュー見沼南中野店 **NEW!!**
さいたま市見沼区南中野282-5
TEL:048(681)5858

● 東京都

- 4 スーパーバリュー練馬大泉店
練馬区大泉町5-6-51
TEL:03(5933)1520
- 7 スーパーバリュー杉並高井戸店
杉並区下高井戸5-12-12
TEL:03(5316)3033
- 12 スーパーバリュー荒川一丁目店
荒川区荒川1-6-1
TEL:03(6458)3344
- 15 スーパーバリュー志茂店 **NEW!!**
北区志茂1-6-11
TEL:03(5939)9677

● 千葉県

- 6 スーパーバリュー南船橋店
船橋市浜町2-2-7 ビビットスクエア1階
TEL:047(495)2901

株主メモ

決 算 期	毎年3月1日から翌年2月末まで
定 時 株 主 総 会	毎年5月開催
株 主 配 当 金	毎年2月末日の株主名簿に記録された株主又は登録質権者にお支払いいたします。
中 間 配 当 金	実施する場合には、毎年8月31日の株主名簿に記録された株主又は登録質権者にお支払いいたします。

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
株 主 名 簿 管 理 人 事 務 取 扱 場 所	東京都中央区八重洲二丁目3番1号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
電 話 照 会 先	☎ 0120-176-417
ホームページURL	http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html
単 元 株 式 数	100株
公 告 の 方 法	日本経済新聞
上 場 証 券 取 引 所	大阪証券取引所 JASDAQ市場
証 券 コ ー ド	3094

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたしました。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

▶IRサイトのご案内

当社ホームページ内の“IRサイト”に、当社の最新情報を掲載しております。ぜひご活用ください。

ホームページURL <http://www.supervalue.jp/>

◆お問い合わせは、下記まで◆



株式会社スーパーバリュー

〒330-0802 埼玉県さいたま市大宮区宮町四丁目129番地 大栄ツインビルN館7階
TEL:048-650-5622